

東京科学大学 教育改善に関するアンケート 令和6年度9月卒業予定者〈理工学系・学士課程〉

教育本部・戦略本部IR部門

目次

1. 基本統計量	6
1.1 学生種別	6
1.2 所属学院	6
2. 問1. 課程における目標について	6
2.1 1) 現在の課程における目標を入学時点ではっきり持っていた	6
2.2 2) 入学時点の、又は在学中に見つけた現在の課程における目標を、達成できた	6
3. 問2. 本学での学生生活における環境・教育について	7
3.1 1) 学習環境（主に施設・設備面）に満足している	7
3.2 2) 就職指導（または就職に関する情報提供）に満足している	7
3.3 3) 大学事務局（学務部・図書館等）のサービスに満足している	7
3.4 4) 研究活動に満足している	7
3.5 5) 研究環境（主に施設・設備面）に満足している	8
3.6 6) サークル活動等の課外活動に満足して	8
3.7 7) 国際経験（短期留学を含む）に満足している	8
3.8 8) 体育館、プール、グラウンド等の施設・設備面に満足している ..	8
3.9 9) 食堂、購買等の施設・設備面に満足している	9
3.10 10) 本学の講義の方法に対して満足している	9
3.11 11) 本学の演習・実験の方法に対して満足している	9
3.12 12) 論文・研究指導に満足している	9

4. 問3. 教育について	10
4.1 1) 自分の専門分野に関する授業科目の内容は十分に理解できた ...	10
4.2 2) 自分の専門分野以外の授業科目（教養科目）の内容は十分に理解できた	10
4.3 3) 自分の専門分野に関する授業科目に対して満足している	10
4.4 4) 自分の専門分野以外の授業科目（教養科目）に対して満足している	10
5. 問4. クォーター制及び学外活動に関して	11
5.1 1) クォーター制による週2回授業（講義）に満足している	11
5.2 2) クォーター制による週2回授業（演習・実験）に満足している .	11
5.3 3) クォーター制によってサークル活動等の課外活動がしやすくなったと感じる	11
5.4 4) クォーター制によって学外活動がしやすくなったと感じる	11
5.5 5) 留学などの国際経験をしたことがある	12
5.6 6) インターンシップなど外部機関での活動をしたことがある	12
5.7 7) ボランティア活動をしたことがある	12
6. 問5. 現在の課程に入学する前に比べて、できるようになったことについて	12
6.1 1) 自身の専門分野の概要・研究手法等について説明できるようになった	12
6.2 2) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった	13
6.3 3) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	13
6.4 4) 新しいことに対して挑戦を試みることができるようになった ...	13
6.5 5) 与えられた課題だけでなく自発的に学び考えることができるようになった	13
6.6 6) 自分の意見を周囲に対して論理的に表現することができるようになった	14

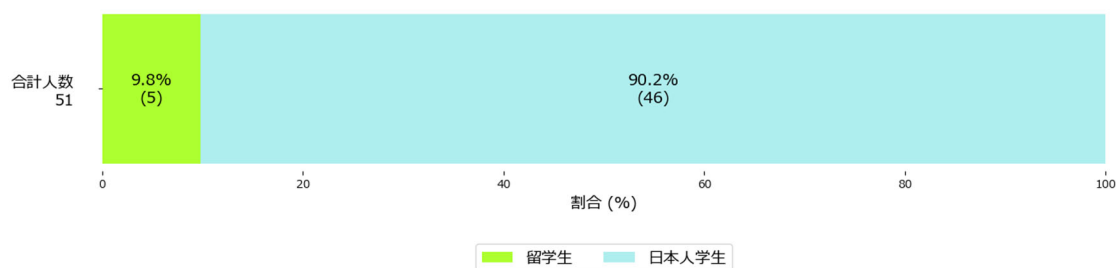
6.7 7) 互いに又はチームで理解及び尊重しあうことができるようになった	14
6.8 8) 複数の視点で事象を整理することができるようになった	14
6.9 9) 論理的な思考で分析できるようになった	14
6.10 10) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった	15
6.11 11) 自らの知識や技能を活用して基本的な問題を解決できるようになった	15
6.12 12) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	15
6.13 13) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった	15
6.14 14) 外国語によるコミュニケーションをとることができるようになった	16
7. 問6. 「東工大立志プロジェクト」や「教養卒論」を履修したことは、今のあなたにとってどのように役立っていると思いますか。	16
7.1 【東工大立志プロジェクト】	16
7.1.1 1) 自身の専門分野の概要・研究手法等について説明できるようになった	16
7.1.2 2) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった	16
7.1.3 3) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	17
7.1.4 4) 新しいことに対して挑戦を試みることができるようになった	17
7.1.5 5) 与えられた課題だけでなく自発的に学び考えることができるようになった	17
7.1.6 6) 自分の意見を周囲に対して論理的に表現することができるようになった	17
7.1.7 7) 互いに又はチームで理解及び尊重しあうことができるようになった	18
7.1.8 8) 複数の視点で事象を整理することができるようになった	18

7.1.9	9) 論理的な思考で分析できるようになった	18
7.1.10	10) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった	18
7.1.11	11) 自らの知識や技能を活用して基本的な問題を解決できるようになった	19
7.1.12	12) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	19
7.1.13	13) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった	19
7.2	【教養卒論】	19
7.2.1	1) 自身の専門分野の概要・研究手法等について説明できるようになった	19
7.2.2	2) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった	20
7.2.3	3) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	20
7.2.4	4) 新しいことに対して挑戦を試みることができるようになった	20
7.2.5	5) 与えられた課題だけでなく自発的に学び考えることができるようになった	20
7.2.6	6) 自分の意見を周囲に対して論理的に表現することができるようになった	21
7.2.7	7) 互いに又はチームで理解及び尊重しあうことができるようになった	21
7.2.8	8) 複数の視点で事象を整理することができるようになった	21
7.2.9	9) 論理的な思考で分析できるようになった	21
7.2.10	10) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった	22
7.2.11	11) 自らの知識や技能を活用して基本的な問題を解決できるようになった	22
7.2.12	12) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	22

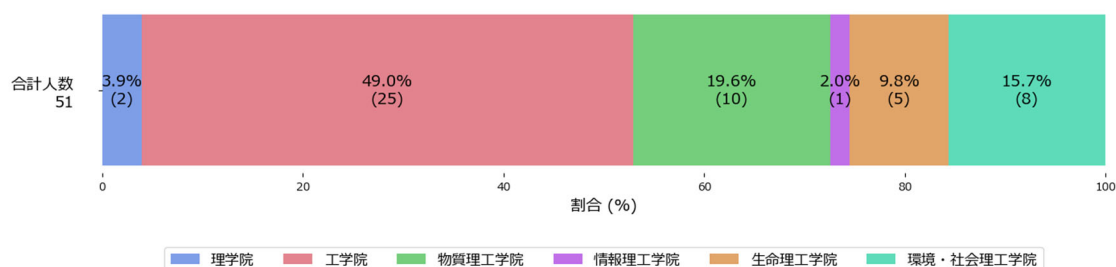
7.2.13 1 3) 自身と異なる慣習，常識等を理解し，他者と協働できるよ うになった	22
---	----

1. 基本統計量

1.1 学生種別

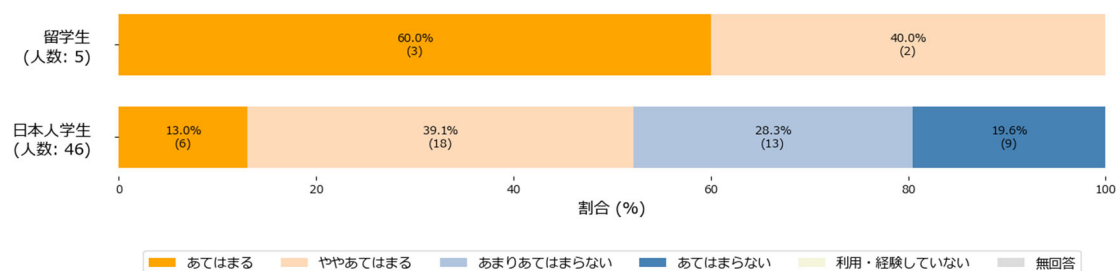


1.2 所属学院

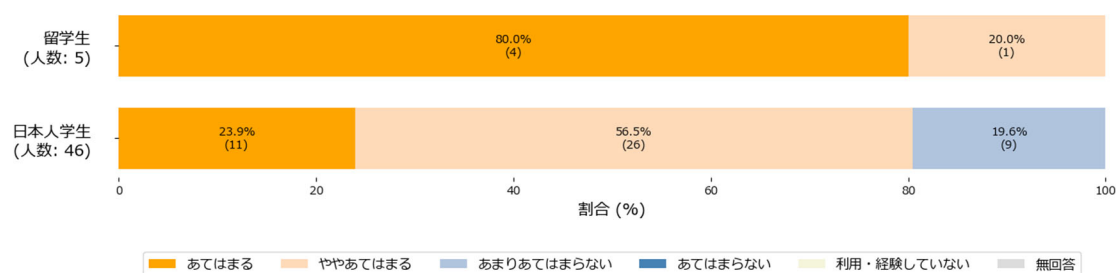


2. 問1. 課程における目標について

2.1 1) 現在の課程における目標を入学時点ではっきり持っていた

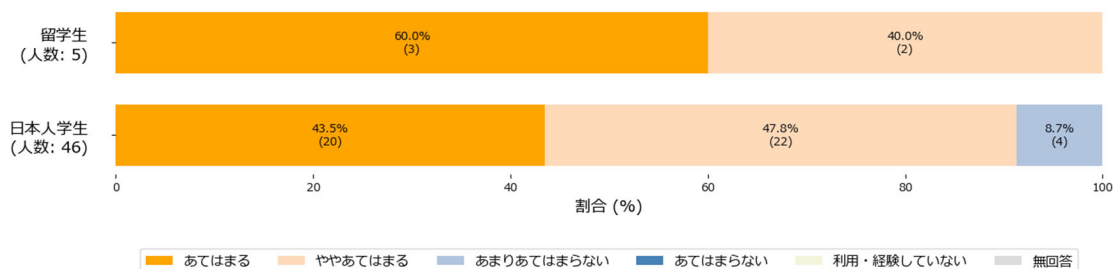


2.2 2) 入学時点の，又は在学中に見つけた現在の課程における目標を，達成できた

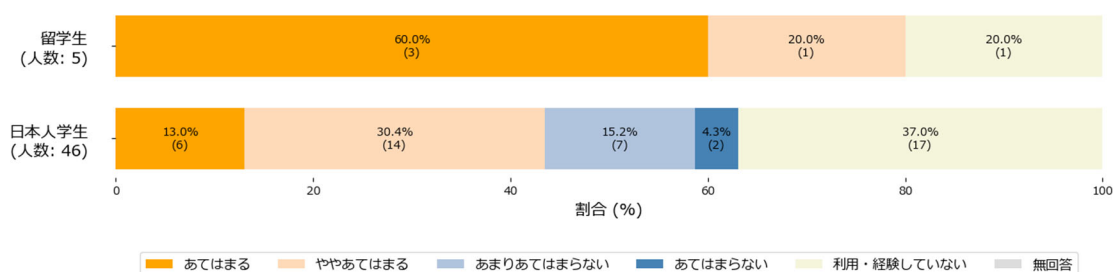


3. 問2. 本学での学生生活における環境・教育について

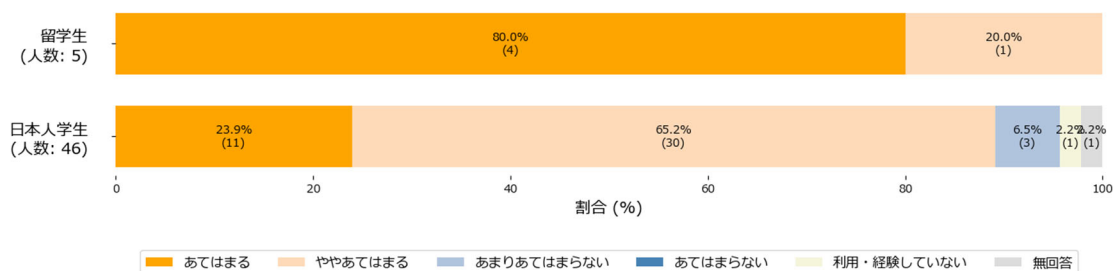
3.1 1) 学習環境（主に施設・設備面）に満足している



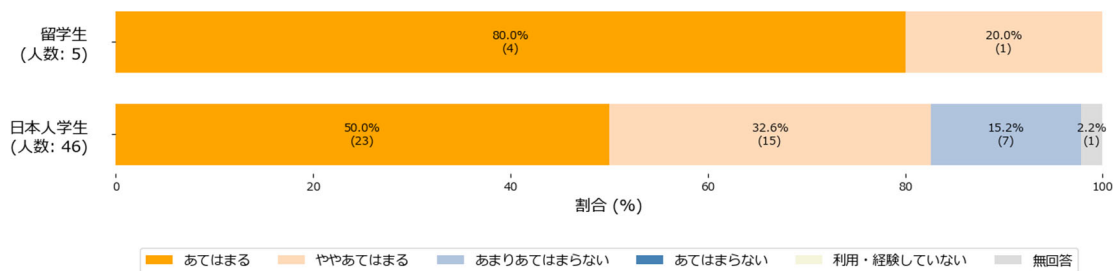
3.2 2) 就職指導（または就職に関する情報提供）に満足している



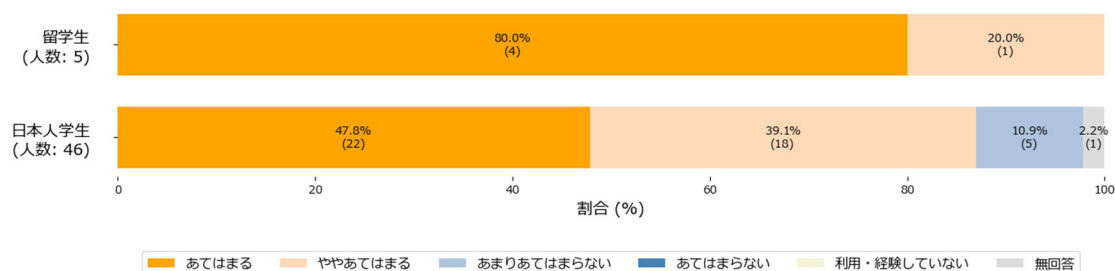
3.3 3) 大学事務局（学務部・図書館等）のサービスに満足している



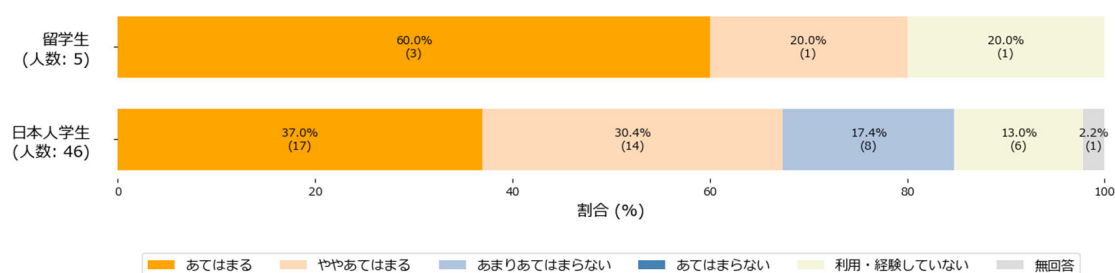
3.4 4) 研究活動に満足している



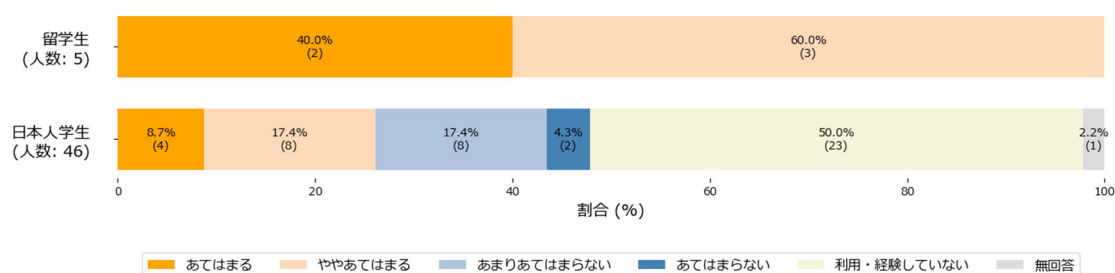
3.5 5) 研究環境（主に施設・設備面）に満足している



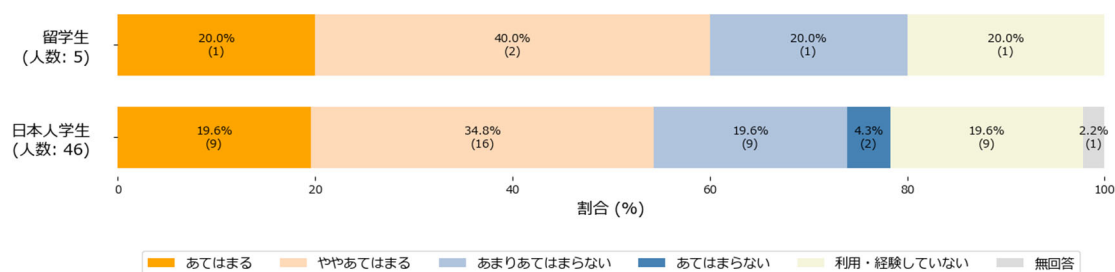
3.6 6) サークル活動等の課外活動に満足してる



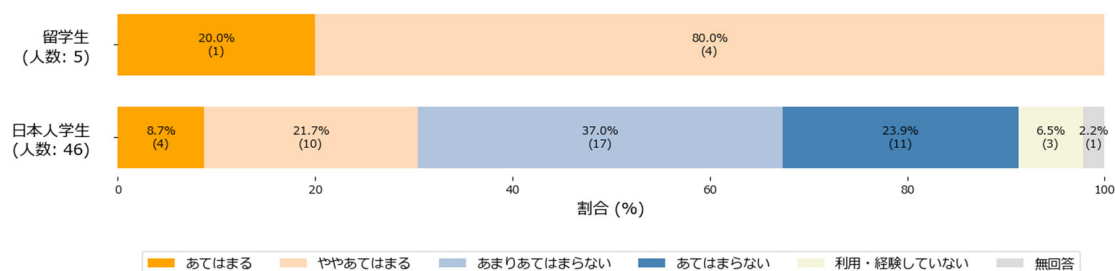
3.7 7) 国際経験（短期留学を含む）に満足している



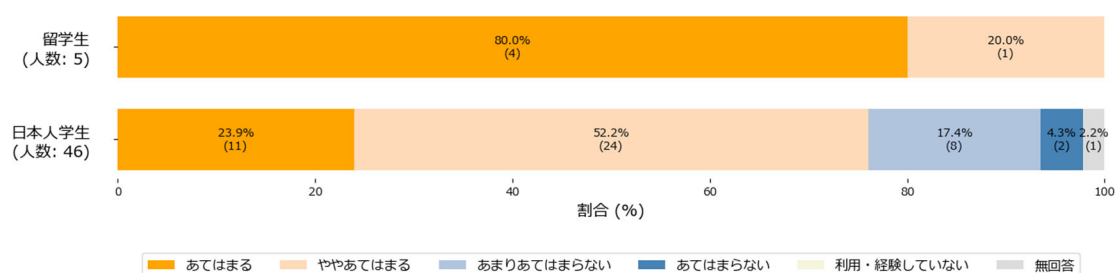
3.8 8) 体育館，プール，グラウンド等の施設・設備面に満足している



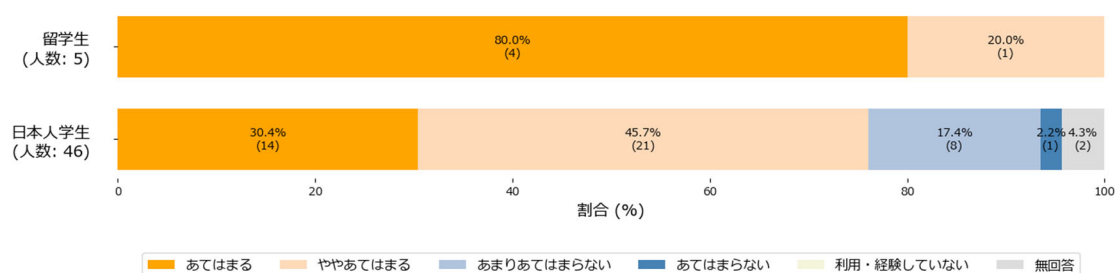
3.9 9) 食堂, 購買等の施設・設備面に満足している



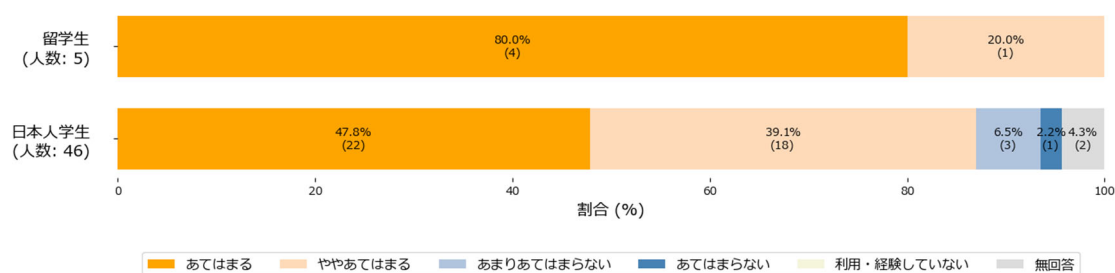
3.10 10) 本学の講義の方法に対して満足している



3.11 11) 本学の演習・実験の方法に対して満足している

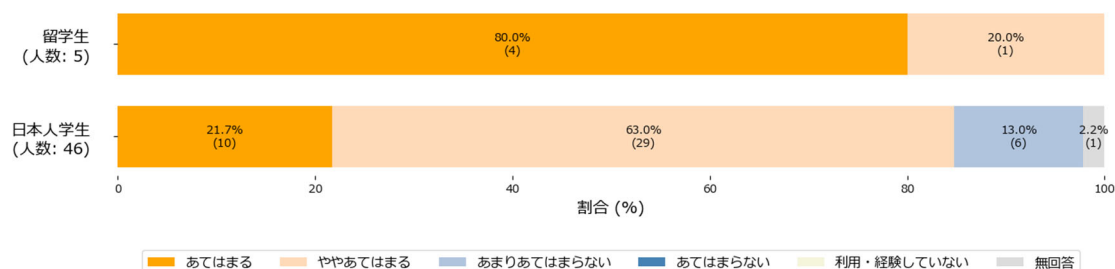


3.12 12) 論文・研究指導に満足している

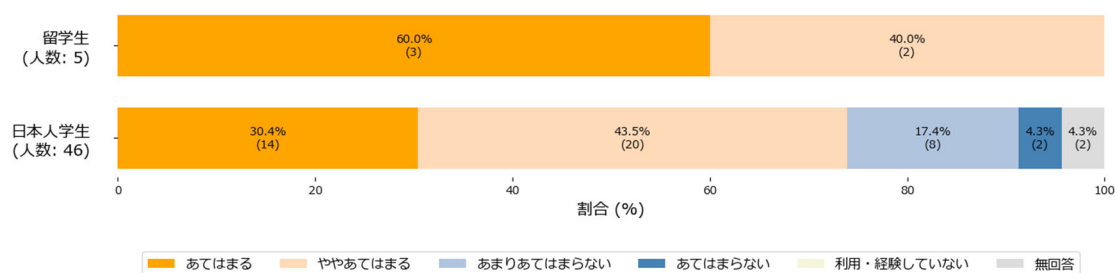


4. 問3. 教育について

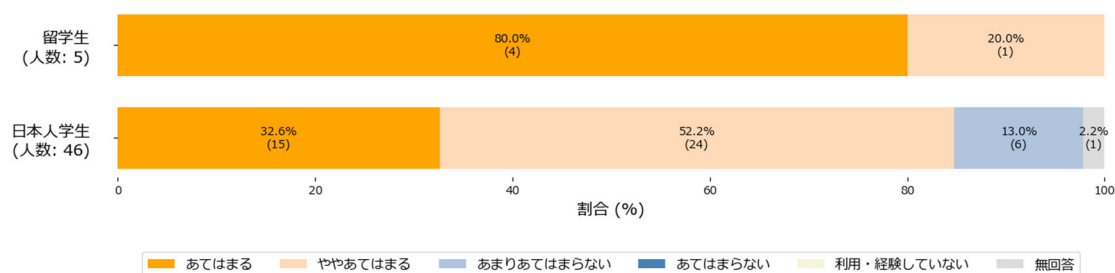
4.1 1) 自分の専門分野に関する授業科目の内容は十分に理解できた



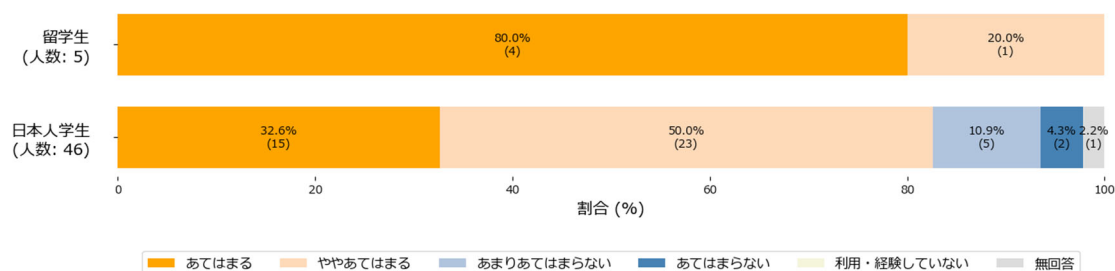
4.2 2) 自分の専門分野以外の授業科目（教養科目）の内容は十分に理解できた



4.3 3) 自分の専門分野に関する授業科目に対して満足している

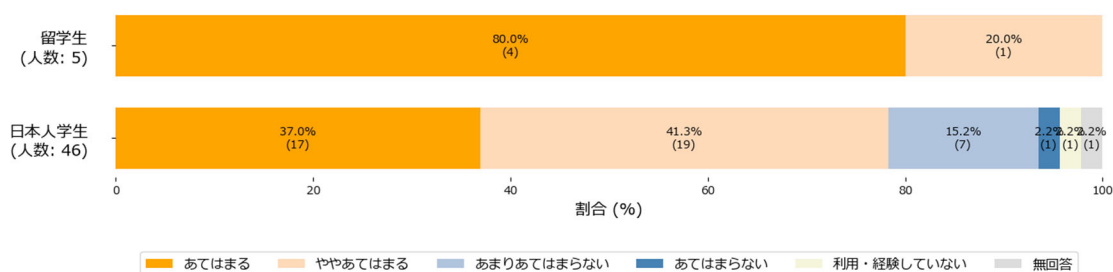


4.4 4) 自分の専門分野以外の授業科目（教養科目）に対して満足している

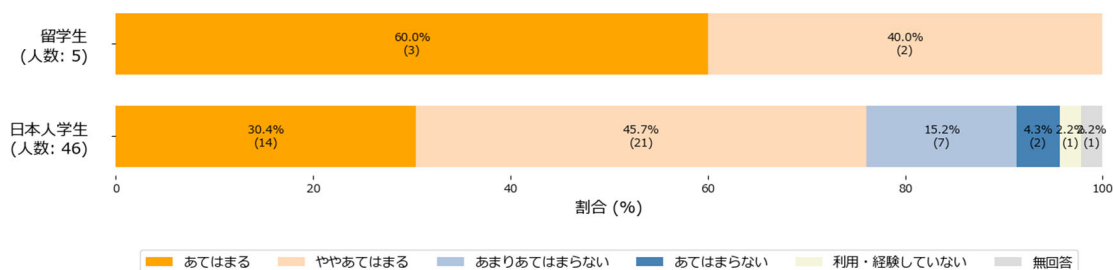


5. 問4. クォーター制及び学外活動に関して

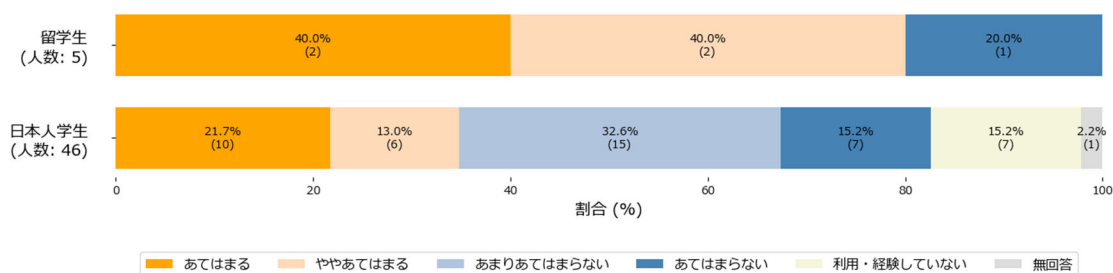
5.1 1) クォーター制による週2回授業（講義）に満足している



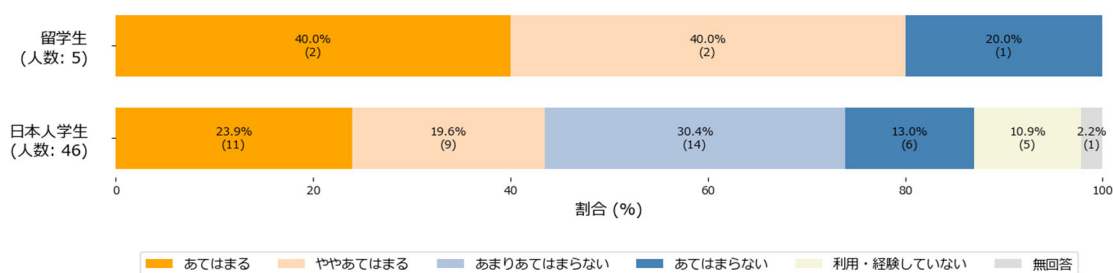
5.2 2) クォーター制による週2回授業（演習・実験）に満足している



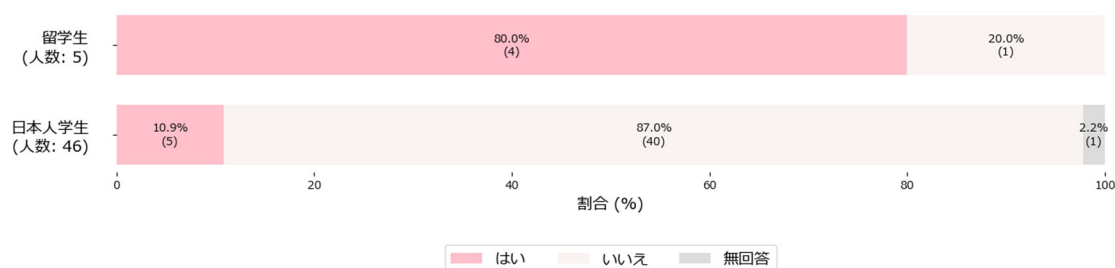
5.3 3) クォーター制によってサークル活動等の課外活動がしやすくなったと感じる



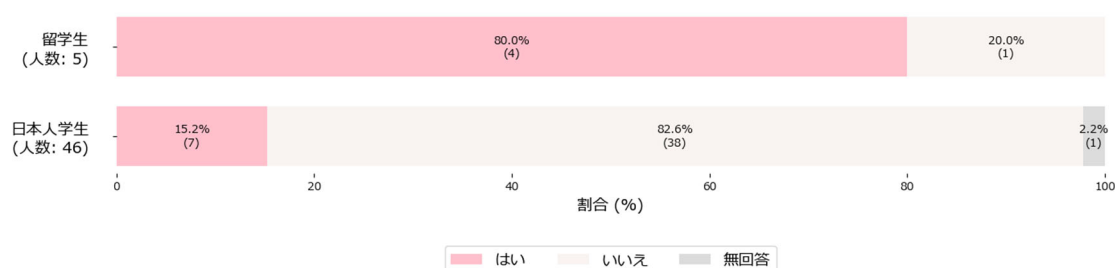
5.4 4) クォーター制によって学外活動がしやすくなったと感じる



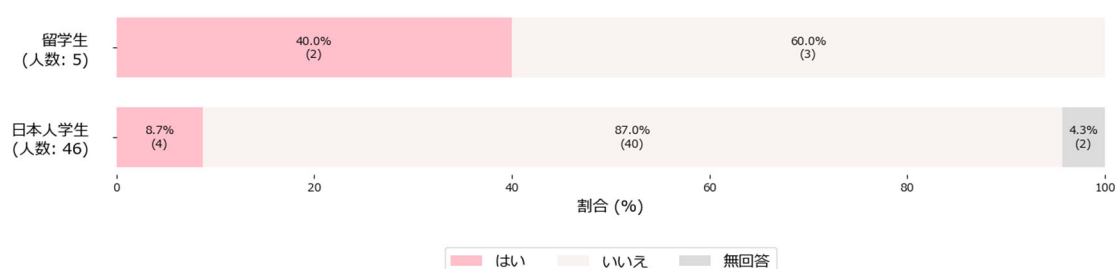
5.5 5) 留学などの国際経験をしたことがある



5.6 6) インターンシップなど外部機関での活動をしたことがある

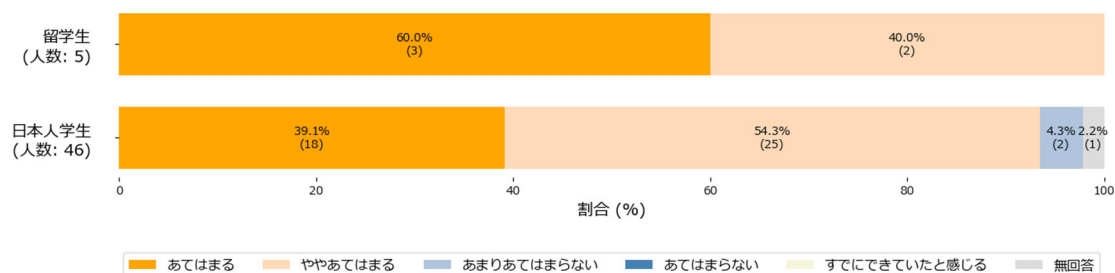


5.7 7) ボランティア活動をしたことがある

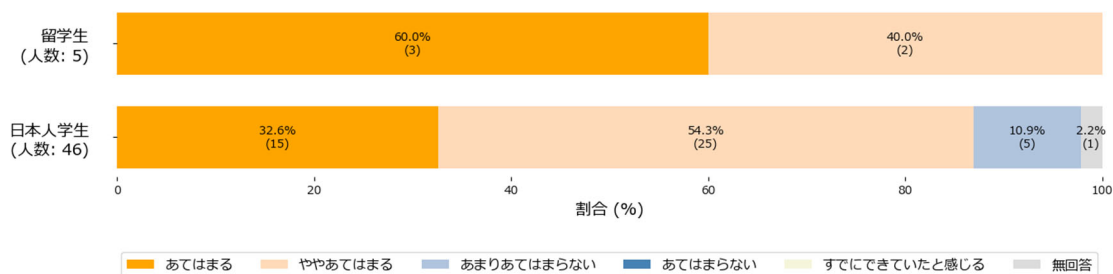


6. 問5. 現在の課程に入学する前に比べて、できるようになったことについて

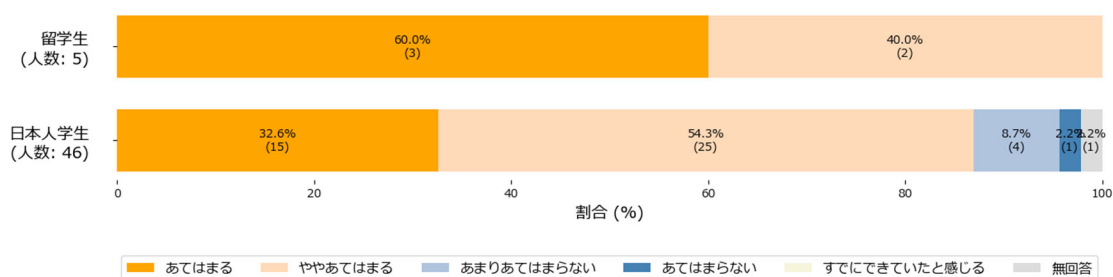
6.1 1) 自身の専門分野の概要・研究手法等について説明できるようになった



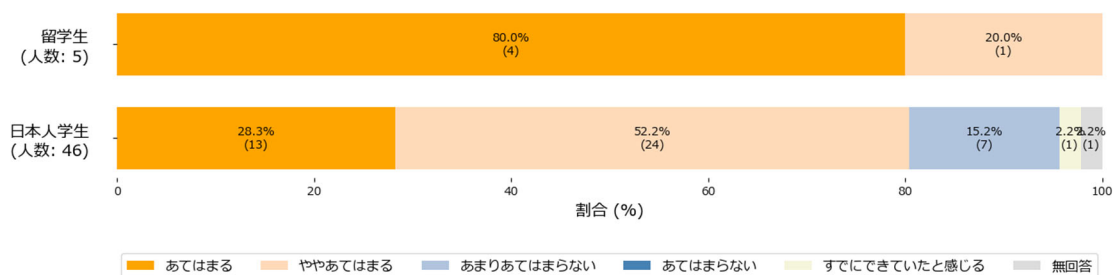
6.2 2) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった



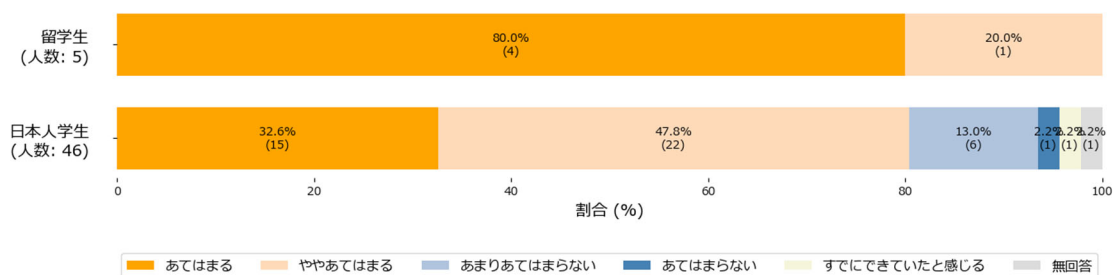
6.3 3) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた



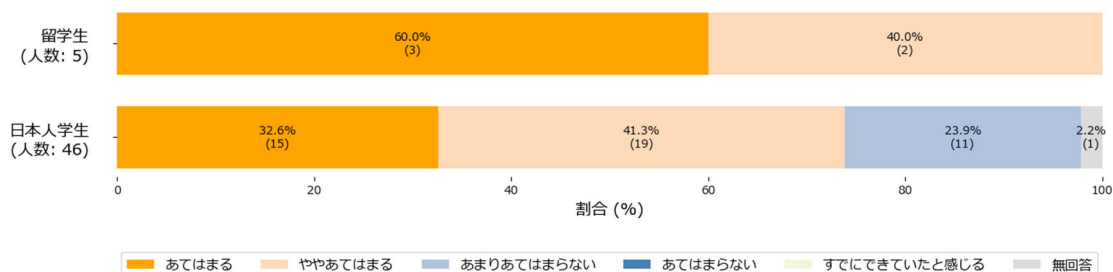
6.4 4) 新しいことに対して挑戦を試みることができるようになった



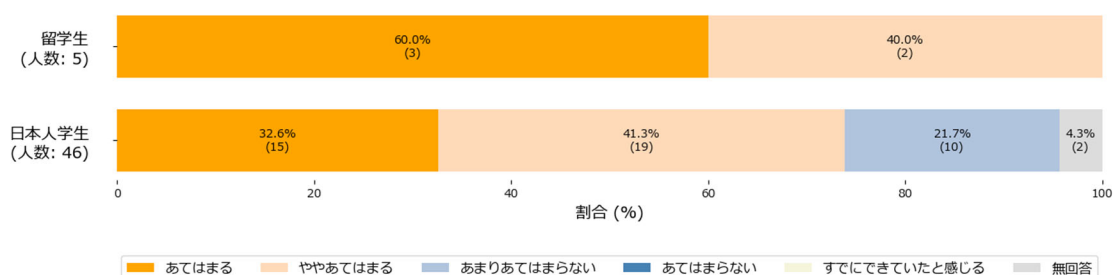
6.5 5) 与えられた課題だけでなく自発的に学び考えることができるようになった



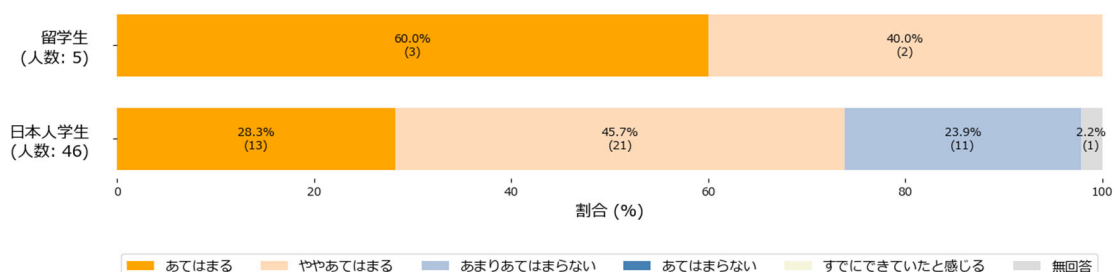
6.6 6) 自分の意見を周囲に対して論理的に表現することができるようになった



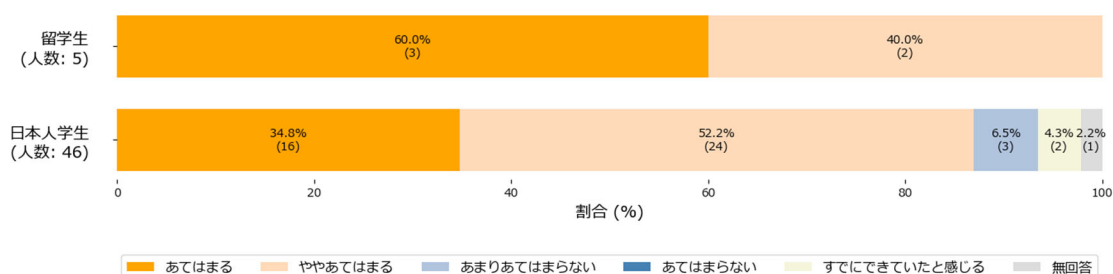
6.7 7) 互いに又はチームで理解及び尊重しあうことができるようになった



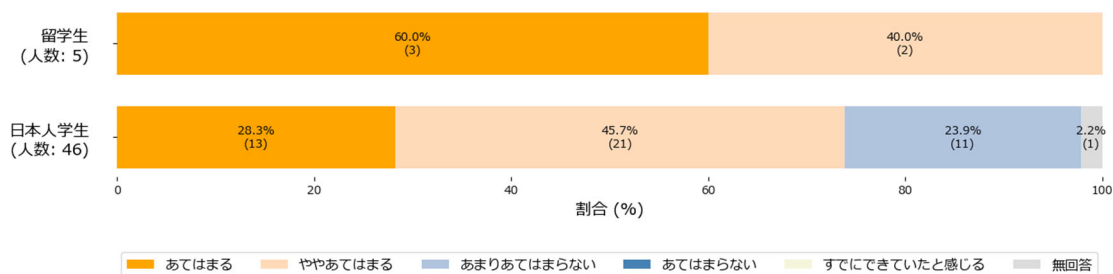
6.8 8) 複数の視点で事象を整理することができるようになった



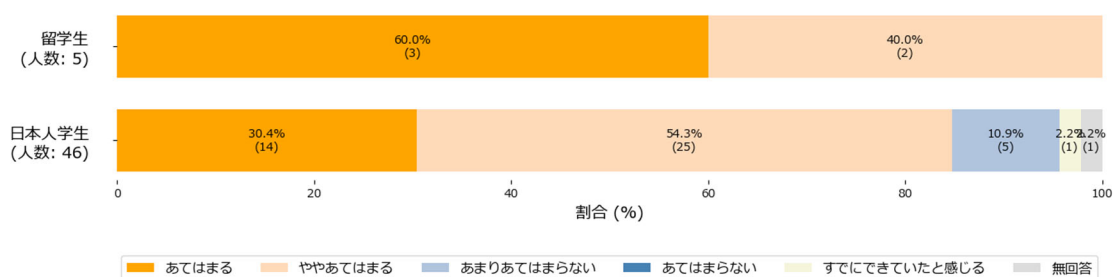
6.9 9) 論理的な思考で分析できるようになった



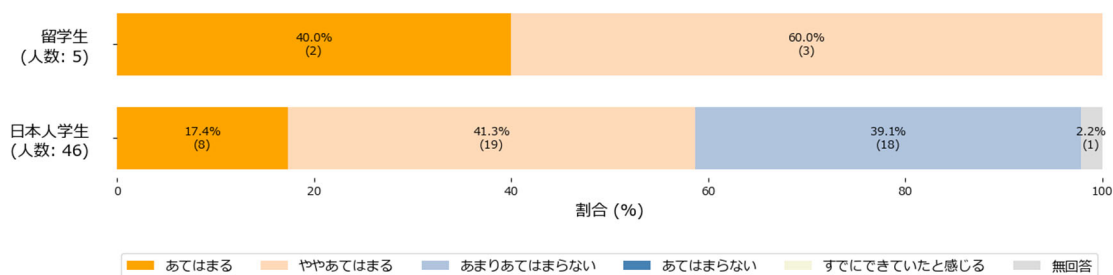
6.10 10) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができたようになった



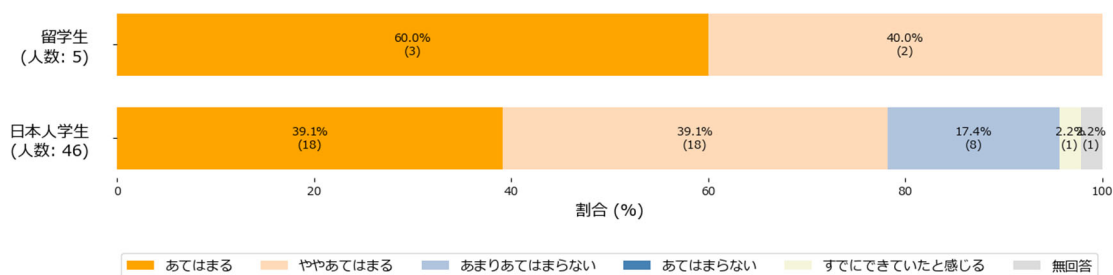
6.11 11) 自らの知識や技能を活用して基本的な問題を解決できるようになった



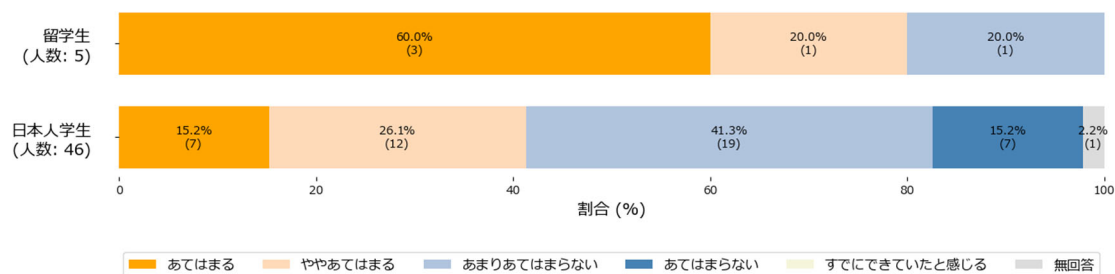
6.12 12) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた



6.13 13) 自身と異なる慣習，常識等を理解し，他者と協働できるようになった



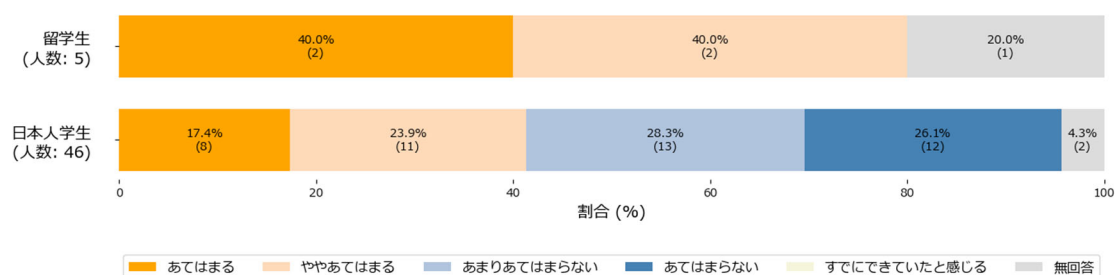
6.14 14) 外国語によるコミュニケーションをとることができるようになった



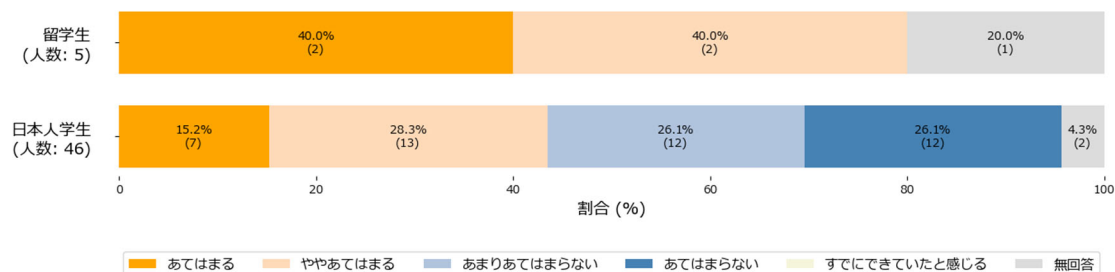
7. 問6. 「東工大立志プロジェクト」や「教養卒論」を履修したことは、今のあなたにとってどのように役立っていると思いますか。

7.1 【東工大立志プロジェクト】

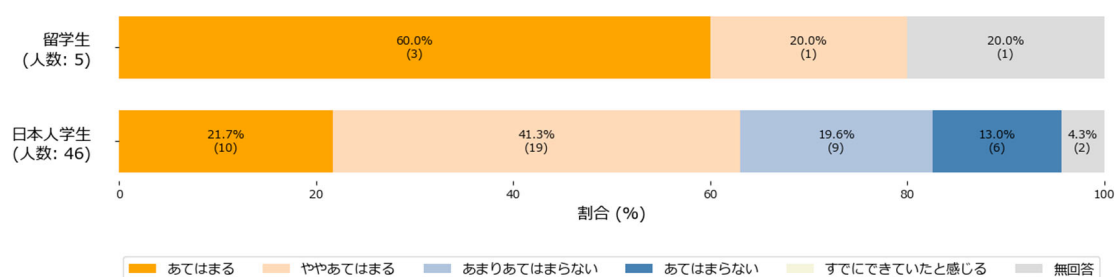
7.1.1 1) 自身の専門分野の概要・研究手法等について説明できるようになった



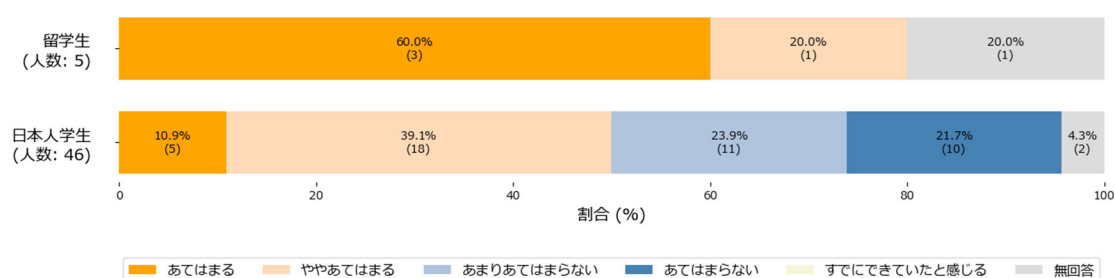
7.1.2 2) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった



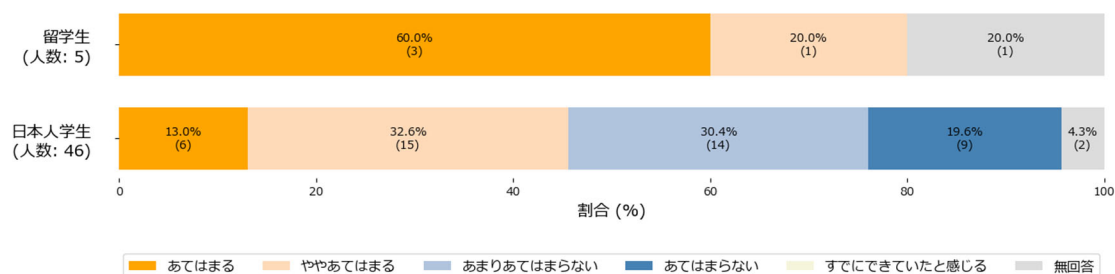
7.1.3 3) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた



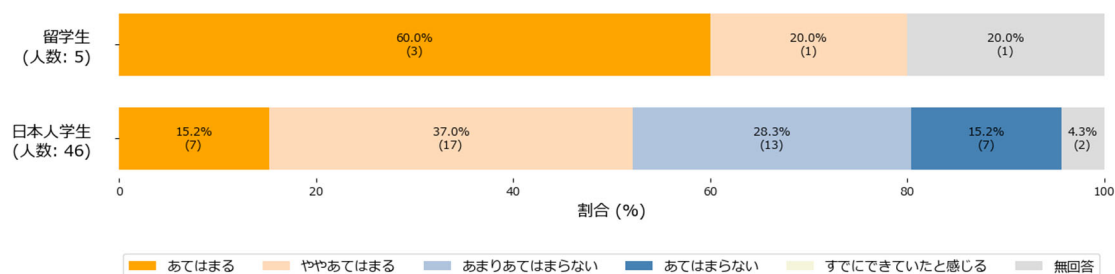
7.1.4 4) 新しいことに対して挑戦を試みることができるようになった



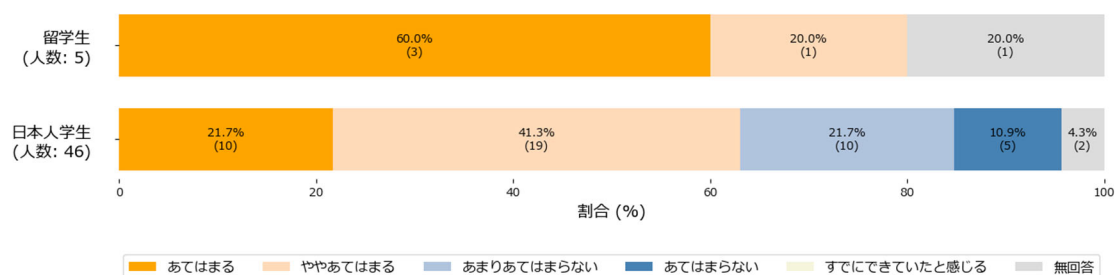
7.1.5 5) 与えられた課題だけでなく自発的に学び考えることができるようになった



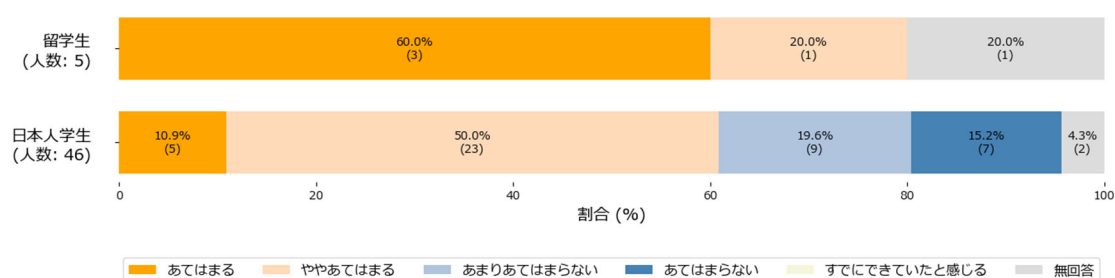
7.1.6 6) 自分の意見を周囲に対して論理的に表現することができるようになった



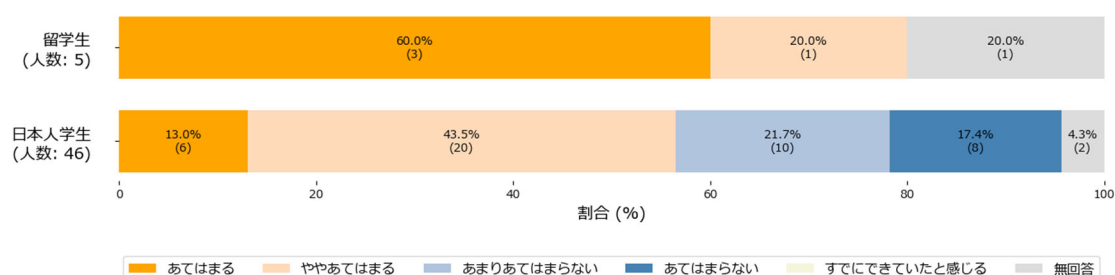
7.1.7 7) 互いに又はチームで理解及び尊重しあうことができるようになった



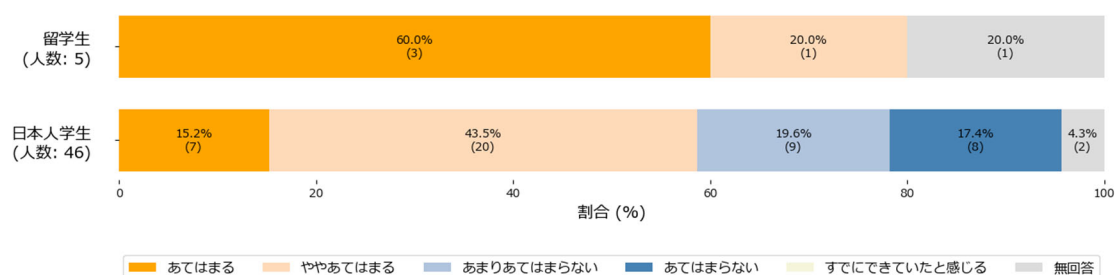
7.1.8 8) 複数の視点で事象を整理することができるようになった



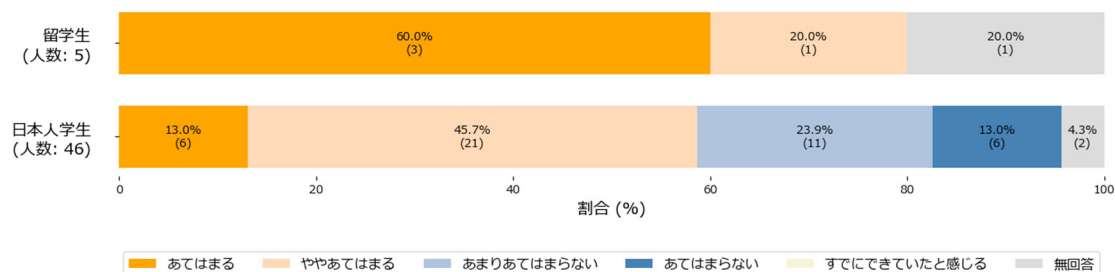
7.1.9 9) 論理的な思考で分析できるようになった



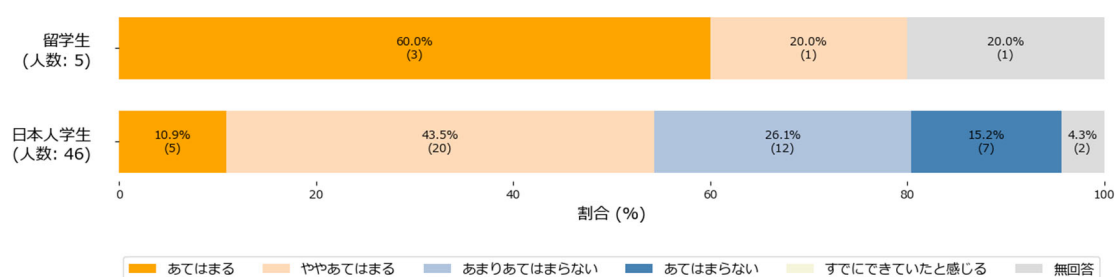
7.1.10 10) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった



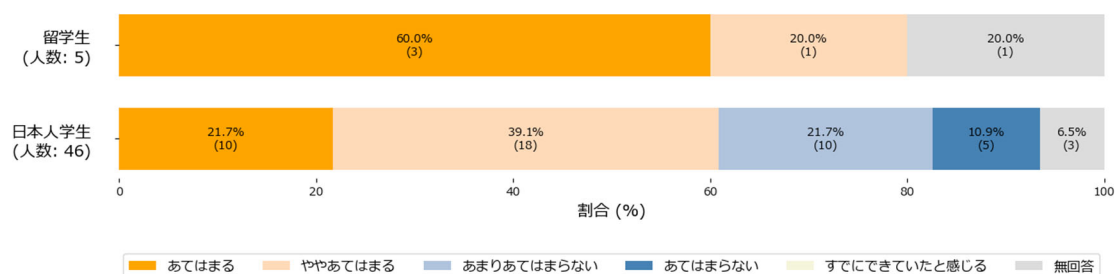
7.1.11 1 1) 自らの知識や技能を活用して基本的な問題を解決できるようになった



7.1.12 1 2) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた

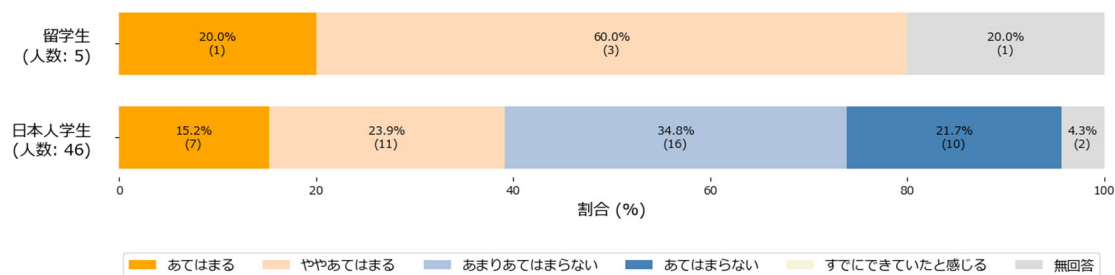


7.1.13 1 3) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった

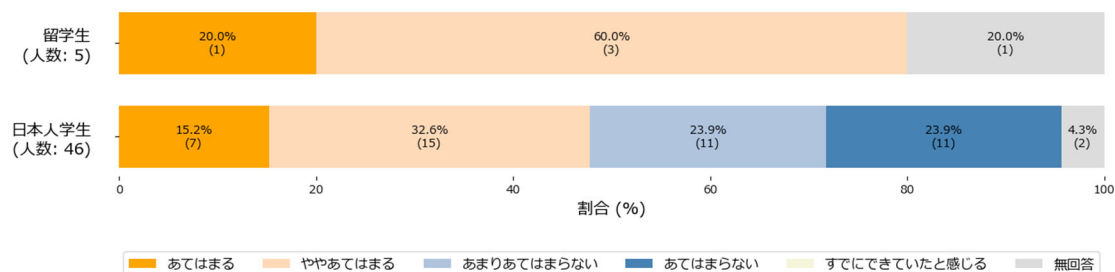


7.2 【教養卒論】

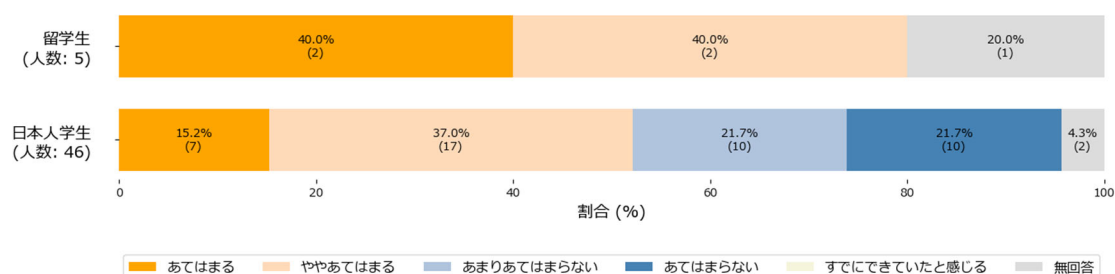
7.2.1 1) 自身の専門分野の概要・研究手法等について説明できるようになった



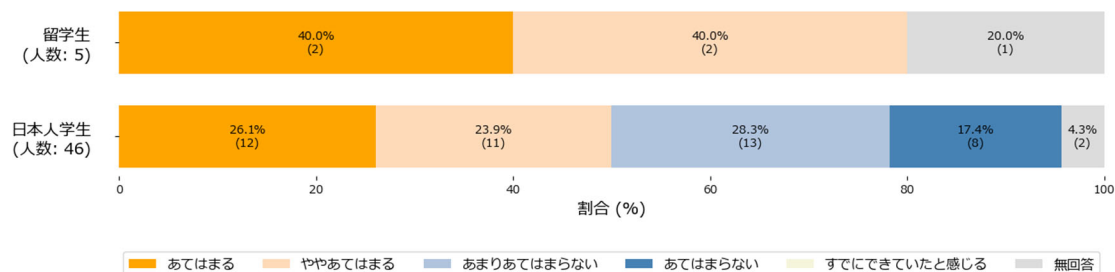
7.2.2 2) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった



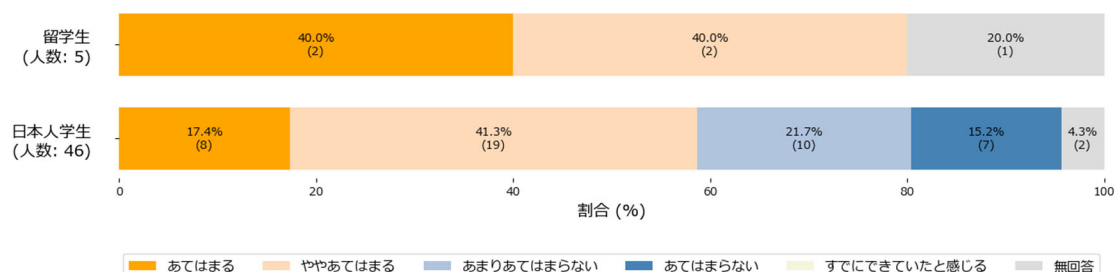
7.2.3 3) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた



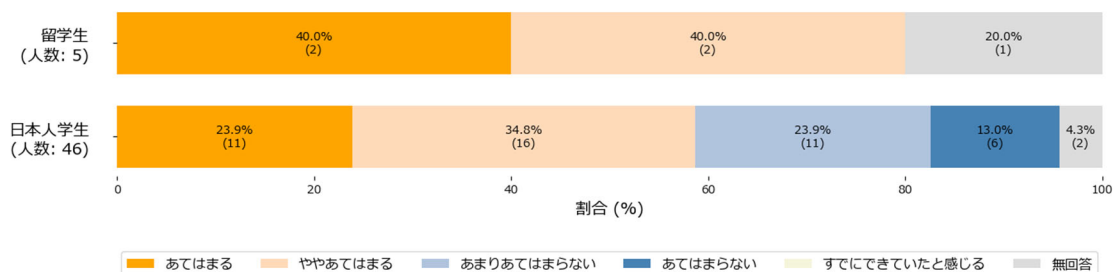
7.2.4 4) 新しいことに対して挑戦を試みることができるようになった



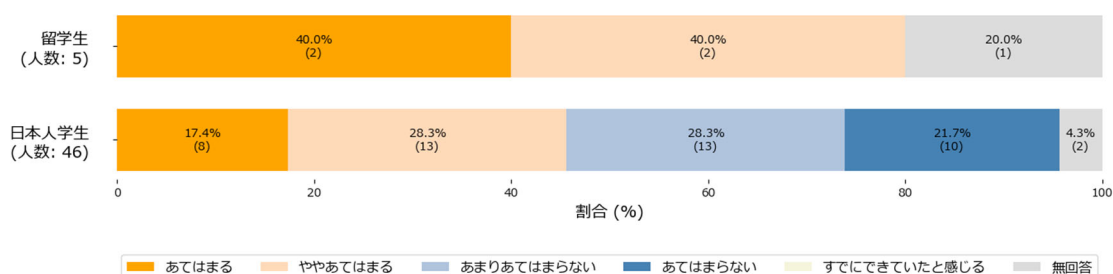
7.2.5 5) 与えられた課題だけでなく自発的に学び考えることができるようになった



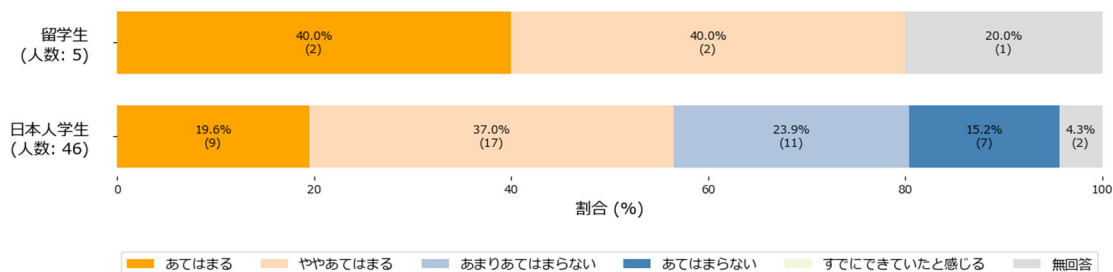
7.2.6 6) 自分の意見を周囲に対して論理的に表現することができるようになった



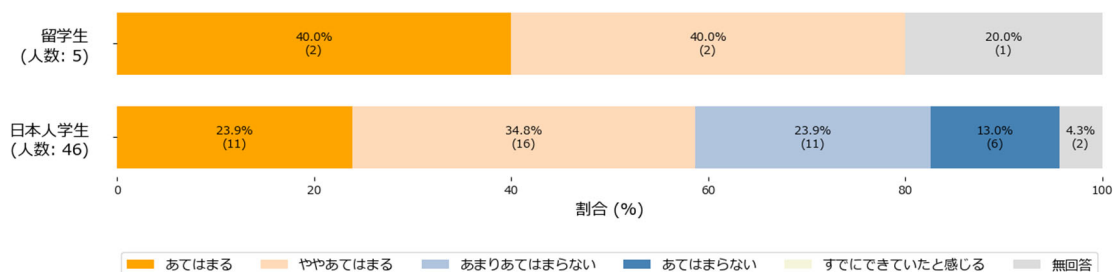
7.2.7 7) 互いに又はチームで理解及び尊重しあうことができるようになった



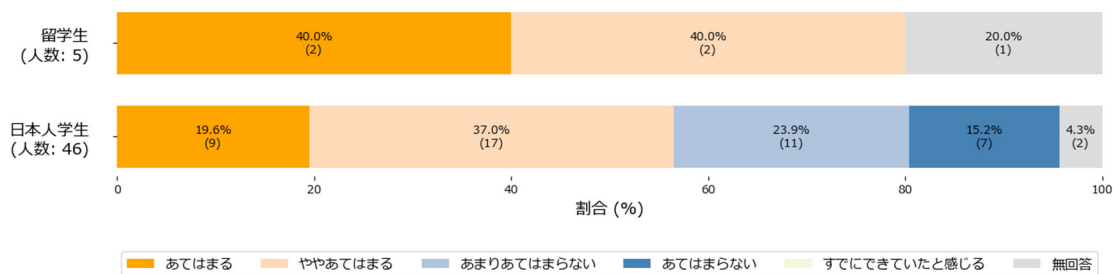
7.2.8 8) 複数の視点で事象を整理することができるようになった



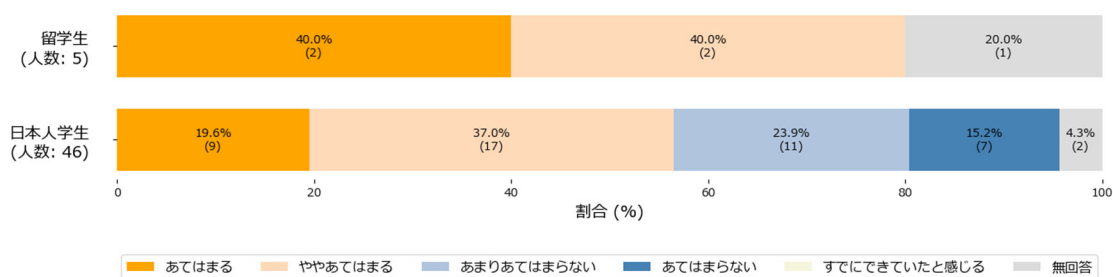
7.2.9 9) 論理的な思考で分析できるようになった



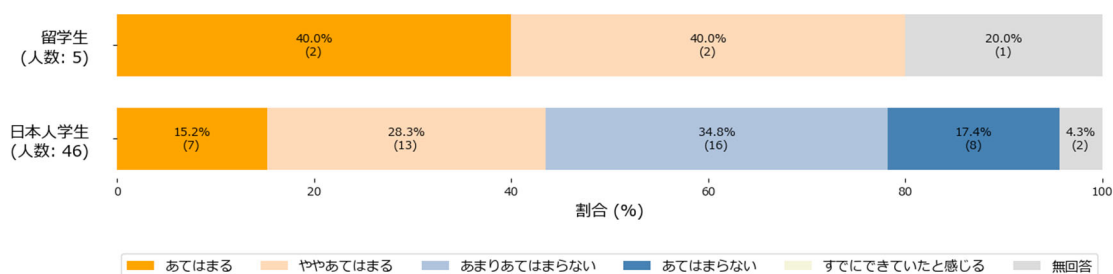
7.2.10 10) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった



7.2.11 11) 自らの知識や技能を活用して基本的な問題を解決できるようになった



7.2.12 12) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた



7.2.13 13) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった

